

## 「ぐるっと茗荷谷・街たんけん(9)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

ポリスチレンボードを使った、街のジオラマづくりは実に楽しい。私が一番楽しんでいるように思う。子どもたちにとっても、街たんけんでの体験をもとに、自分たちの理想の街を、少しずつ創りあげてゆくことは、他にはない体験で、どの子どもも生き生きと活動に取り組んでいる。



これは、あるファミリー(班)の活動3回目の街の姿である。鉄道の敷き方はめちゃくちゃだが、道路は比較的整然としていて、「都市計画」はうまくいっているようだ。この班は、どこに自分の家を建てるかということで、「一等地の争奪戦」で論争していた。こういう姿も面白い。



街には樹木も欠かせない。樹木は、楊枝1本とティッシュペーパーで簡単に作れる。身近なものをうまく利用することで、興味も持続しやすい。



ポリスチレンボードは、市販品の中では極めて軽い素材の一つで、子どもでも扱いが楽である。建物や樹木は、すべて楊枝を刺して固定されているので、写真のように逆さにしても、ストラクチャー(構造物)は落下しない。こうして子どもたちは、時々「街の耐久性」を検査しているのである。



ポリスチレンボードを使った、ジオラマづくりの最大の特徴は、こうして縦に掲示して保管できることである。ボードの裏側に、やや強いゴム磁石を貼り、天井の鉄製の梁(パーティションレール)に貼り付けてある。ボードは学年全部で27枚あるが、こうすると場所をとらない。しかも他の班の進捗状況をいつでも見ることができ、相互啓発も盛んになる。完成は2学期になりそうだが、今から楽しみである。

### 【子どもの絵日記から】

おかあさんへ・・・私はいま学校で、町のジオラマを作っています。最初にせんろと道をはりました。その時はぜんぜん町らしくなくて、おもしろいと、あまり思いませんでした。でもぐるっとみょうが谷に行って、家とか店とかたてると、きゅうに町っぽくなってきて、おもしろくなってきました。かんせいしたら、学校で見てください。